

Granada イタリック

イタリックは斜体文字のこと。斜体でS字をコテで連続に描くようにしてできる意匠。

● 使用材料・使用器具

使用材料

グラナダ内装用 20kg/プラール

使用器具

計量 秤
 基層塗り リシガン又はコテ
 模様塗り リシガン又はコテ
 模様付け 仕上げゴテ

● 標準施工仕様

(20°C、65%RH)

工程	使用材料		調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
						工程内	工程間	
基層塗り	グラナダ内装用		20kg	0.8~1.0	1	-	6以上	リシガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ
	清水	吹付け塗り	1~2kg					
模様塗り	グラナダ内装用		20kg	1.6~2.0	1	-	-	リシガン 口径:6~8mm 吹圧:0.4~0.6MPa コテ
	清水	コテ塗り	0~0.5kg					
パターン 付け	材料配り均し後、仕上げゴテなどを使用し、斜体でややランダムにS字を描くように意匠付けをする。					-	追っかけ 模様付け	仕上げゴテ (L:210~240mm)
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。					-	直後又は 乾燥後	

● 標準施工要領

1. 基層塗り

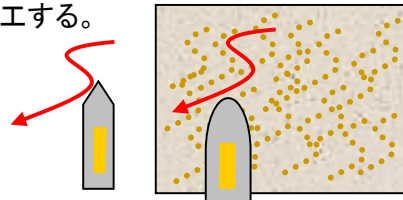
- ①グラナダ内装用は、開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②グラナダ内装用に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤などを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシガンで吹き付けるか、又はコテなどを使用し塗り付ける。

2. 模様塗り

- ①出隅、入隅、開口部廻、大面積連続壁で意匠目地を必要とする場合は25mm幅の装飾養生をする。また長スパン壁は適度なスパンで装飾養生を取るようにする。
- ②主材は定められた模様になるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、水の計量は秤を使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ③模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を塗り付ける。

3. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗りと並行して追っかけで行う。まず、コテL:210~240mm程度の仕上げゴテや丸ゴテなどを使用して、少しみだれた風の流れを形にした様に横にコテ継ぎ跡を付け意匠付けする。
- ②パターンの大きさ、コテ継ぎの間隔などにより仕上がり感が異なるため、見本板などであらかじめ設計担当者に確認を行っておくようにする。
- ③グラナダ内装用は表面皮張りが早いため、直射日光など避けて施工する。
- ④模様塗り・パターン付けは上部から下部に向け施工して行く。
- ⑤標準意匠は、20~30cm程度の間隔でコテ跡をゆるやかに斜体のS字を描くようにして意匠付けする。
- ⑥各段のコテ跡は、ややランダムにコテ跡を付けていくようにする。
- ⑦パターンは、壁全体のバランスも考慮して整える。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。なお、バリの出ている場合は、カッターナイフで取るようにする。
- ②足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。